

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
I	1	(1)	①理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	保育所の理念、基本方針は大宝保育園コンセプトブックに分かりやすくまとめられていて、保育所の目指す方向、考え方を読み取ることができます。理念、基本方針は職員にも周知、共通理解が図られ、理念、基本方針に即した保育が実施されています。保護者については入園時にコンセプトブックを基に理念、基本方針について説明をし周知を図っています。保護者アンケートにおいて理念、基本方針について理解し、共感、支持する結果が出ています。	1
I	2	(1)	①事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	市の子育て支援課から情報を得たり、地域の保育園（下妻研究グループ）と情報の共有を図るなどして少子化等を含め保育所の地域における経営環境の変化等の把握に努めています。会計士による毎月の収支が報告され経営状況の把握が行われています。	2
I	2	(1)	②経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	経営状況や経営課題は明確にして役員等で共有はなされています。今後は経営課題に向けての解決・改善に向けた具体的な取り組みを期待します。	3
I	3	(1)	①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	園としては、中・長期計画策定の認識はしていますが、策定までに至っていません。今後は将来的に安定的な経営や運営が行われていくためにも中・長期的なビジョンを明確にした計画の策定を望みます。	4
I	3	(1)	②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	中・長期計画が策定され、その内容が反映された事業計画の策定が行われることを期待します。	5
I	3	(2)	①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	事業計画は職員の参画や意見の集約・反映の元で策定されることを期待します。事業計画の実施状況や評価があらかじめ定められた時期、手順に基づき実施されることを望みます。	6
I	3	(2)	②事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	事業計画が適切に策定され、事業計画の主な内容が保護者に周知されることを期待します。	7
I	4	(1)	①保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	現在はオンラインで外部講師による内部研修を実施しています。定期的に第三者評価を受審し、それに伴い職員は自己評価を実施しています。「子育て科学アクシス」に法人で加入しておりカンファレンス時には専門家のアドバイスが受けられるようになっています。「一円対話」を取り入れて職員のコミュニケーションを図りチーム力の向上に役立てています。	8
I	4	(1)	②評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	評価結果から明確になった課題について文書化し、職員間で共有化が図られ、改善策や改善計画の策定がなされることが望まれます。	9

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
Ⅱ	1	(1)	①施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	施設長は保育所をリードする立場として、理念や基本方針を踏まえた取り組みを具体化し、質の高い保育の実現に施設長としての役割と責任を果たしています。 非常時における施設長の役割と責任についても、不在時の権限委任等を含め明確にされています。	10
Ⅱ	1	(1)	②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	施設長は遵守すべき法令等の理解に努め、関係する研修等に積極的に参加し職員に対しても遵守すべき法令等の周知に努めています。 施設長は子どもを取り巻く環境問題にも積極的に取り組み、園庭の緑化に努めたり、調理前の野菜くずはEMボカシと混ぜて肥料にして園庭で野菜を栽培したり、食べ物は無農薬や有機栽培の物を仕入れたりして、有害化学物質の排除にも取り組んでいます。	11
Ⅱ	1	(2)	①保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	職員を外部の研修に参加させたり、外部の講師をお願いして、内部研修を実施することで保育の質の向上に意欲的に取り組んでいます。「子育て科学アクシス」に法人で加入しカンファレンスに専門家のアドバイスが受けられるようになっていきます。月2回「一元対話」の時間を設け職員のコミュニケーションを図り、チーム力の向上に効果を上げています。	12
Ⅱ	1	(2)	②経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	施設長はどのクラスも複数職員の配置を行ったり、子育て支援員を採用したり職員が働きやすい環境整備に努めています。 子ども、職員に節電の意識を持ってもらうよう電力デマンドの時計を設置して、節電意識の醸成を図っています。	13
Ⅱ	2	(1)	①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	退職した職員を土曜出勤職員として採用し、子育て支援員を遅番担当の一人として採用しています。また看護師の配置を行っています。 経験年数の長い職員が多いのに対し、若い職員が少ない現状で、新採職員の採用を課題として採用活動に力を入れています。	14
Ⅱ	2	(1)	②総合的な人事管理が行われている。	b	コンセプトブックの中に「大宝保育園の職員の皆さんに」として園長から職員へのメッセージとして「期待する職員像」が記されています。 人事基準を明確にし職員に周知し、職員が、自ら将来の姿を描くことが出来るような仕組みづくりを期待します。	15
Ⅱ	2	(2)	①職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	全クラス複数担任制にしたことで休みが取りやすい、遅番専門、土曜日出勤職員を雇用したことで遅番の回数、土曜日の出勤回数も減ったことで職員からは働きやすくなったと好評を得ています。 午前中に職員が交代での休憩時間が確保されており、コミュニケーションを図る貴重な時間となっています。	16
Ⅱ	2	(3)	①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	コンセプトブックの中に「大宝保育園の職員の皆さんに」として園長から職員へのメッセージとして「期待する職員像」が記されています。職員は毎月、自己評価を行い保育の振り返りを行っています。チェックのつかなかった項目については主任等と話し合う機会を作っています。	17
Ⅱ	2	(3)	②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c	コンセプトブックの中に職員のみなさんとして「いつも子どもを真ん中において」「子どもの成長のためにまず自分たちが変わろう」「子どもの可能性を信じよう」「一人の子どもの担任は全員です」などの期待する職員像が明記されています。 職員の教育・研修に関する基本方針や計画を策定し、これからも教育・研修が実施されることを望みます。	18

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
II	2	(3)	③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	基本的には職員が研修内容に興味、関心を持ち参加したい研修を希望し許可の元で、現在はリモートでの研修への参加となっています。新人職員に対しては研修と合わせてベテランの職員と組んでの保育の現場でOJTが適切に実施されています。	19
II	2	(4)	①実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	実習生の受入れについては保育主任が窓口となり学校側と連携を取りながら、実習生への面談を行い実習の目的に沿ったプログラムに即して実習の受入れが行われています。実習終了後には保育主任、園長も参加して全体の反省会を行うなど、将来保育を担う人材に育成のためにも丁寧な指導が行われています。受入れマニュアル等が作成されていないので、今後実習生等専門職の育成について基本姿勢を明文化し、研修・育成についてのマニュアルの整備が望まれます。	20
II	3	(1)	①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	園のホームページに理念、基本方針、保育内容についても適切に公開されています。第三者評価の受審結果も見られるようになっています。苦情解決制度について周知は図っていますが、今後は苦情・相談の内容に基づく対応の状況についても公表することを期待します。	21
II	3	(1)	②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	経理規定等ルールが明確にされ、事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ適正な経営・運営が行われています。会計士により定期的な内部監査も実施されています。	22
II	4	(1)	①子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	園庭の開放を行ったり、近くの幼稚園や法人が運営している学童クラブとの交流が行われています。年1回バザーを実施したり、週1回地域の農家が野菜の販売を行い、保護者や地域の方も買いに来ています。年長の女兒で神楽の五行の舞を練習して大宝神社の大祭や菊祭り等で披露したり、老人ホームに慰問に出かけ喜ばれています。	23
II	4	(1)	②ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	現在も定期的に2名のボランティアの受入れが行われ、ボランティア受け入れ簿は記入がされていますが、今後新たなボランティアの受入れに際しても、ボランティアの受入れに関する基本姿勢の明文化、また受入れについての登録手続き、ボランティアの配置、事前説明に関する項目が記載されたマニュアルの整備が期待されます。	24
II	4	(2)	①保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	学校、市役所、病院、警察、消防、児童相談所等必要な社会資源をリスト化し職員への共有化も図られています。学童クラブ、小学校とは連携を密にとり適切に連携が行われるよう取り組んでいます。	25
II	4	(3)	①保育所が有する機能を地域に還元している。	b	毎年園主催の講演会を実施してきましたが今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。年長児の女兒の神楽、五行の舞は大宝神社の大祭や菊祭り、老人ホームの慰問等で発表され好評を得ています。	26
II	4	(3)	②地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	保育サービスを実施する中で保育サービスで対応できない子ども・保護者のニーズについての把握に努め、把握したニーズに対して保育所独自の公益的な事業・活動に取り組むことを期待します。	27

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
Ⅲ	1	(1)	①子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	年度始めの職員会議の際、「大宝保育園コンセプトブック」を全職員に配布し、理念・基本方針に明文化してある「子どもを尊重した保育の実施」について話し合い、周知する取り組みをしています。自立できる子どもを目標として、安易に手を出さず、見守る保育を実施し、3・4・5歳児の異年齢児クラスでの生活を通し、優しさや思いやりの心、異年齢の絆が育まれ、お互い尊重しあっています。職員研修のマナー講習で人を尊ぶ心や人としてのマナーを具体的に学ぶ取り組みを行っています。子どもを尊重した保育に対する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法に反映されることを期待します。	28
Ⅲ	1	(1)	②子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	子どもたちと接する際、排泄や着替え、シャワーの利用などの生活の場において、それぞれの状況で配慮されています。虐待防止のマニュアルは整備されていますが、子どものプライバシー保護など、権利擁護に配慮したマニュアルの作成を期待します。	29
Ⅲ	1	(2)	①利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	来園した希望者には理念・保育方針、保育内容、園の特性などが記載されているコンセプトブックを配布して説明しています。パンフレットは園の玄関に置いておくなどし、ホームページやメールにて情報提供を行っています。主任保育士が個別に丁寧な説明を実施しています。	30
Ⅲ	1	(2)	②保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b	保護者に入園説明会で「大宝保育園コンセプトブック」を配布して理念・保育方針、保育内容のほか、園で取り組んでいる有害化学物質を排除しできるだけ自然のなかにあって体にも環境にも優しいものを使用していることなどをわかりやすく説明しています。子どもの早寝早起きの生活習慣は家庭と園でお互いが理解し合うことが大切になるので丁寧に説明し「子どもの発達のためには何が最善なのか」保護者と一緒に考えていくようにしています。	31
Ⅲ	1	(2)	③保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	保育園等の変更にあたっては、主任が中心となって保育の継続性に配慮した対応を行っています。	32
Ⅲ	1	(3)	①利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c	行事後に保護者へのアンケート調査を行ったり、月1回希望者を対象とした給食の試食会「ドラゴン亭」を開催し、園への希望や相談などを話し合う場を設けています。主任保育士が対応し、話し合い内容の分析や検討を行い、改善を図っていますが、会議として職員の話合いが決まっていないため、検討会議の設置を期待します。	33
Ⅲ	1	(4)	①苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	苦情解決の仕組みは職員・保護者ともに周知し、機能していますが、苦情内容及び解決結果など、苦情を申し出た保護者に配慮した上で、全保護者へ公表することを期待します。	34
Ⅲ	1	(4)	②保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	c	保護者が相談や意見を述べやすいよう、複数の窓口を文書で知らせたり、掲示したりする取り組みがなされることを期待します。	35

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
Ⅲ	1	(4)	③保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	c	保護者からの相談や意見について直ぐに対応できるものについては、連絡帳を活用したり、朝夕の送迎の際に、互いに顔を合わせて相談内容に迅速に対応したりしています。相談や意見について、記録や方法、報告の手順、対応策などを定めたマニュアルの整備を行うことを期待します。	36
Ⅲ	1	(5)	①安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	c	今年は新型コロナウイルス感染症の影響で研修が中止となっておりますが、消防訓練、救急法など、保護者の中で救急救命士の資格を持つ人の協力を得て、内部研修を行いました。ヒヤリハットの記録を残したり、リスクマネジメントに関する責任者を決め委員会を設置するなど、リスクマネジメントの環境を整備することを期待します。	37
Ⅲ	1	(5)	②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	看護師が感染症の予防や発生時における安全確保の整備を行っています。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、正しい対策を理解をするため、全職員がオンラインで講座を受けています。	38
Ⅲ	1	(5)	③災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	b	毎月防災訓練を実施し、地元の行政や消防署、警察、自治会などと連携するなど、体制を編成しています。栄養士が食料や備品などを備蓄し、管理しています。	39
Ⅲ	2	(1)	①保育について標準的な実施方法が明文化され保育が提供されている。	c	保育を行うにあたって、標準的な実施方法の手順・手引書が文書化されることにより、保育内容が一定の基準を保って提供されることを期待します。	40
Ⅲ	2	(1)	②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	保育内容等は標準的な実施方法の文書化はされていませんが、日々の保育から見直しを行い、文書化されることを期待します。	41
Ⅲ	2	(2)	①アセスメントにもとづく個別的な指導計画を適切に策定している。	b	担任がパソコンで2ヶ月に1度、チェック項目にチェックを入れて、指針に沿った発達の記録を残す形でアセスメントを行っています。3ヶ月に1回専門家を呼んでケース会議を開催しています。	42
Ⅲ	2	(2)	②定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c	指導計画の見直しについて、実施する時期や検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順や組織的な仕組みを定め、定期的の実施することを期待します。	43
Ⅲ	2	(3)	①子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	子どもに関する保育の実施状況の記録の管理が行われています。児童票や日誌はパソコン管理を行っており、日誌と同じ様式でチェック及び書き込む形式で誰でも閲覧可能で情報共有できるようになっています。	44
Ⅲ	2	(3)	②子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	管理会社に記録の管理を委託しています。児童票の発達の記録はパソコン管理のため、誰がチェックを入れても5領域での全ての発達を見ることが出来ます。個人情報の取り扱いは保護者に入園前の説明会の際に説明し、周知しています。	45

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	1	(1)	①保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b	園の理念、保育方針に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて実施しています。評価・見直しを定期的に行い、次への課題解決に生かしていくことを期待します。	A-1
付	1	(2)	①生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	清潔で安全な環境で、子どもたちが安心して寛ぐことができ、心地よく過ごせる環境、食事、遊び、睡眠の場が確保されています。園内外の設備・用具の管理がなされています。寝具は週1回家庭に持ち帰って洗濯し、衛生面に配慮しています。遊具は安全に配慮されており、ブランコなどの座面は危険のない素材を用いています。	A-2
付	1	(2)	②一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	「みんな違って、みんないい」子どもの発達、家庭環境等から生じる一人ひとりの個性、個人差を把握し、それを尊重した保育をしています。急かしたり、制止したりする言葉を必要以上に使うことなく、子どもを見守る保育をしています。	A-3
付	1	(2)	③子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	生活習慣の基本としての早寝・早起きの取り組みとして、家庭の理解を求め、午睡を午前中に実施し、食事の居眠りをなくし、昼食後の休息、思う存分体を使っての遊びなど、活動を見直し、夜は8時から9時就寝と習慣づけるよう配慮しています。	A-4
付	1	(2)	④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	自立できる子ども、思いやりがある子ども、協調性がある子ども、健やかでたくましい子ども、感謝できる子ども、人を信じられる子ども、主体性のある子どもを目標に保育を展開しています。安易に大人が手を下さずに見守り、援助やアドバイスをし、一人ひとりを尊重しています。異年齢児保育を実施することで、年少児への優しさや気づきが芽生え、同時に年長児へのあこがれの気持ちが生れるとともに子ども同士の絆も育まれています。午前中の活動はハイハイ運動や手指の運動、戸外では草履、室内は裸足での生活で土踏まずの刺激になるようにしています。	A-5
付	1	(2)	⑤乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	0歳児が長時間安心して保育士と過ごすなど、保育士との愛着関係も深く、情緒の安定が図れるよう配慮されています。家庭との連携も、おたよりノートや送迎時の声掛けなどで連携を密にし、生活と遊びの配慮がなされています。	A-6
付	1	(2)	⑥3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	一人ひとりの子どもの状態に応じ、自分でしようとする気持ちを尊重し、探索活動を十分に行える環境が整備され、落ち着いて生活することができています。1・2歳児の外遊びは、砂場を中心に山があるなど、自然に囲まれて好きなように遊ぶことができています。連絡帳の活用や送迎時の声掛けにより、家庭と連携した取り組みがなされています。	A-7
付	1	(2)	⑦3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	3・4・5歳児の異年齢保育をしています。保育士が3名入っているので、各年齢の子どもとの関わりがあり、集団の中で安心して興味を持って遊ぶ活動をし、適切に関わっています。年長児は12月下旬頃より年長児のみのクラスになり、就学する気持ちを持つ機関を作り、友達と協力して活動する経験を通して達成感を持つことができるようにしています。	A-8

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	1	(2)	⑧障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	c	障害のある子どもを特別扱いせず、ほかの子どもと同じ生活の場で過ごしています。障害児担当の保育士が配置されています。保育上の問題があったときは、大学教授や専門の療育指導員などの指導・助言を受け、職員が関われる体制を作っています。障害のある子どもの状況に配慮した指導計画を作成し、クラスなどの指導計画と関連付けることを期待します。	A-9
付	1	(2)	⑨長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しています。午前中にハイハイ運動や手指の運動（微細運動・粗大運動）を実施し、その後約1時間の午前寝、昼食、午後休息、活動と健康な体作りをしています。朝・夕・土曜日保育は専任の保育士があたっているため、子どもや保護者との関係も安定しており、保育との連携もとれています。	A-10
付	1	(2)	⑩小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	学校や保育園訪問を行って交流を深めています。保育士と小学校教員との意見交換や合同での話し合いを通し、就学に向けて小学校との連携を図っています。3・4・5歳の混合保育を行っていますが、12月下旬ごろから5歳児だけのクラスとなり、小学校の生活について見通しを持てるよう配慮しています。	A-11
付	1	(3)	①子どもの健康管理を適切に行っている。	b	看護師が子どもの健康状態を把握し、対応しています。子どもの健康状態の少しの変化にも気づき、保育士と共有しています。既往症や予防接種など、保護者から子どもの健康に関する情報を得て記録しています。乳幼児突然死症候群に関する知識を周知するよう取り組んでいます。午睡時もうつぶせ寝をさせないようにし、5分毎にチェックし、安全確保をしています。	A-12
付	1	(3)	②健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	b	健康診断、歯科検診は年2回実施し、記録した上で関係職員に周知しています。保護者にも結果を知らせ、家庭生活に生かすよう配慮しています。	A-13
付	1	(3)	③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	疾患のある子どもについては、医師からの指示を受けて対応しています。保護者と連携し、園での生活に配慮したり、食事の提供も他の子どもとの相違に配慮し、理解を図っています。	A-14
付	1	(4)	①食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	栄養士による食育年間計画の作成により、0～5歳までの食育の活動、全職員との関わり、共食の楽しさを感じられるようにしています。0歳児は離乳食ノートで家庭との連携を図り、より良い食育を進めています。職員と子どもたちで旬の野菜を育てて収穫し、給食室のお手伝いをして食べています。大根を収穫して干してたくあんにしたり、梅やしその収穫をして梅ジュースや梅干しづくりをしています。毎月19日を食育の日とし、お弁当の日としています。また、給食だよりの配布や食育ワークシートを通し、家庭との連携を図っています。	A-15
付	1	(4)	②子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	楽しくおいしく食べることのできる食事を心がけており、子どもの発達状況や体調も考慮しています。食べる量もおかわり自由で、子どもがよそっている。季節感のある献立を考慮するとともに、子どもたちが育てた野菜を使用したり、子どもキッチンでお手伝いをしたりと、食事を楽しめる仕掛けがなされています。調理の職員も子どもたちとともに食事をし、子どもたちの様子を見ている。マニュアルに基づき、適切な衛生管理がなされています。	A-16

福祉サービス第三者評価結果（個票）

対象	分類	項目	細目	評価結果	判断根拠・特記事項等	
付	2	(1)	①子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	連絡帳は、今の時期は必要な時だけ記入しています。直接送迎であるため、顔を合わせて情報交換をしています。	A-17
付	2	(2)	①保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	個別面談を実施し、園での様子や家庭での様子を話し、互いに安心して子育てができるよう支援しています。保護者からの相談にも丁寧に対応しています。	A-18
付	2	(2)	②家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの生活の変化をとらえ、子どもの心身の状態や家庭での生活の状況を把握するよう努めています。市役所や児童相談所等の関係機関との連携を図っています。虐待等権利侵害を発見した場合の対応マニュアルに沿って研修を実施し、記録を残すことを期待します。	A-19
付	3	(1)	①保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	保育士が自らの保育実践の振り返りとして毎月末にそれぞれの専門性の項目で作成したチェックシートに基づいてチェックをし、提出しています。チェックの付かなかった所について話し合い、保育の再確認を行っています。	A-20